

基本項目記入数

25

チャレンジ項目記入数

16

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・獣医師が使用する鍼等の医療廃棄物は専門の業者に回収を依頼し、適切に処理を行っている。 ・鶏糞を肥料にリサイクルし、地域に還元している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・本社にデマンド監視装置を設置し、照明をLEDに切替する等の節電に取り組んでいる。 ・CO ₂ 排出量算定システム「炭削くん」を活用し、エネルギー使用量の算定・削減に取り組んでいる。							7.3						13							
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・全従業員でアイドリングストップを徹底している。 ・CO ₂ 排出量算定システム「炭削くん」を活用し、自社の二酸化炭素の排出量を把握・削減に取り組んでいる。			2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・環境に悪影響を及ぼさないように鶏糞を肥料にリサイクルしている。 ・臭気対策(飼料、消臭菌等)を徹底している。						6.6									14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・鶏糞を肥料にリサイクルし、地域に還元している。 ・卵のトレイをリユースし、効率的な資源利用に取り組んでいる。										9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・農場にてチキンニップルフィーダーを使用した節水に努める他、鶏舎内の汚物を適切に処理することにより、水資源の量と質の保全に取り組んでいる。			2.4			6.1 6.3 6.4 6.6 6.b						11.5			14.1 14.2 14.3	15			17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・本社での備品購入はグリーン購入を推奨している。										9.4			12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		・生産した卵についてはワクチン卵、食用卵の選別を行い廃棄が出ないように徹底している。		1	2				6.4							12.3		14	15			17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・本社敷地に樹木の植栽を行い、緑化に取り組んでいる。													11.6 11.7		13.1 13.3		15			17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。	●		・【予定】令和8年9月までに太陽光発電システムを設置し、再生可能エネルギーの使用を開始する。								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●									6			9.4			11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●								6.1 6.3 6.6							11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		・卵のトレイやコンテナのリユースを行い、プラスチック使用量の削減により海洋汚染防止に取り組んでいる。														12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●													9.4			11.2		13.1 13.3				
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出量実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.6 11.a	12.8	13					17.2	

